

解散の件

兵庫自治学会（以下「自治学会」という。）は、「兵庫県及び県内市町が主体的に取り組むべき行政課題について研究し、その政策形成活動を助長する」ため、平成5年11月6日に設立された。

最盛期には会員数約1500人を数え、全米・公共行政学会（ASPA）との交流事業による国際的な活動や、県下10地域でのコラボレーション・プロジェクトの開催など、地方自治の基盤強化に資する幅広い活動を積み重ねてきたことが高く評価され、平成28年には「貝原俊民美しい兵庫づくり賞」（（一財）地域政策研究会）を受賞した。

こうした活動を通じ、職員の政策形成能力の向上による地方自治の発展に寄与するという目的を果たしてきたが、設立から30年が経過し、時代が大きく変化する中で、近年は会員数もピーク時の5分の1以下と大幅に減少し、研究発表のほとんどを学生等の非会員が占めるなど研究活動も極めて低調となり、さらには、会費収入の減少により単年度赤字が常態化するなど、今後の継続した活動が困難な状況となっている。このため、兵庫自治学会運営委員会では自治学会のあり方について協議を重ねてきた。

一方で、自治学会の設立母体である兵庫県は、令和5年3月に「人材マネジメント方針」を策定し、複雑化・高度化する行政課題に対応できる新たな人材育成に取り組むこととしている。

こうした状況に鑑み、自治学会としては令和5年度の事業終了をもって解散することを提案する。

【参考】

<現 状>

(1) 会員数

平成16年をピークに、近年は会員数が年々大幅に減少。

(単位：人)

	H16	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
個人	1,445	520	455	407	379	313	286	267	242	184
団体	18	10	10	8	8	8	8	8	8	8
賛助	79	163	157	142	141	153	141	141	134	113
合計	1,542	693	622	557	528	474	435	416	384	305

※ 個人会員（県職員、市町職員、学識者）

※ 団体会員（県、機構、県社会福祉事業団、ひょうご科学技術協会、ひょうご産業活性化センター、県まちづくり技術センター、県園芸・公園協会、淡路島くにうみ協会）

※ 賛助会員（会の目的に賛同する県内在住・在勤の個人[県OB、NPO職員など]）議決権なし

(2) 会員による研究活動の状況

会員による活動が低迷しており、県内大学など関係機関への依頼により、学生など非会員を動員しながら事業の存続を図っている。

	実施事業	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
研究活動	研究発表大会 参加者数（ ）は内数で会員数	22 (10)	23 (9)	15 (5)	18 (9)	18 (8)	18 (5)	18 (5)	18 (2)	18 (1)	5 (1)
	グループ研究応援事業 自主研究活動 支援グループ数	3	0	1	2	2	1	0	0	0	—
	コラボレーションプロジェクト セミナー等の実施支援件数	2	2	0	1	1	1	0	0	1	—
自己研鑽	自治学会セミナー R2~オンライン 参加者数（ ）は内数で会員数	75 (24)	163 (31)	63 (13)	35 (8)	44 (12)	72 (19)	63 (不明)	140 (不明)	55 (不明)	—
	海外セミナー 全米公共・行政学会参加者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	—

(3) 財政状況

赤字運営が常態化している。

(単位：千円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
収入	2,704	2,867	3,349	2,045	1,955	1,853	1,749	1,750	1,551
支出	3,241	3,751	2,543	2,700	2,523	1,795	1,975	2,274	2,773
単年度収支	▲537	▲884	806	▲655	▲568	58	▲226	▲524	▲1,222
繰越残	8,315	7,431	8,237	7,582	7,014	7,073	6,847	6,323	5,101

※ H28 貝原俊民美しい兵庫づくり賞（副賞100万円）受賞による収入の増

※ R1 台風19号により研究発表大会を中止したことによる支出の減